

当病院では睡眠時無呼吸検査を行っています

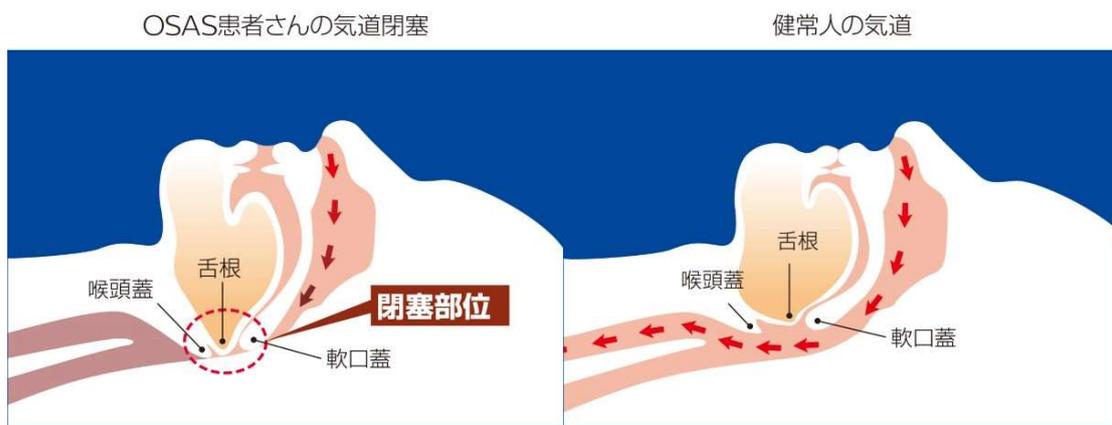
• 睡眠時無呼吸とは

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは睡眠中に呼吸が止まる、または浅く・弱くなることで十分な睡眠を取ることができず日常生活に障害を引き起こす疾患です。夜間に繰り返される無呼吸低呼吸（首を絞められたような状態）で、血液中の酸素が低下します。その状態が起こるたびに中途覚醒が発生し、睡眠を妨げ、日中の眠気を増加させ身体に悪影響をおよぼします。

最近の研究で SAS が起こると少ない酸素を全身にめぐらすため心臓や血管に負担がかかることがわかりました。この状態が長く続くとさまざまな生活習慣病（高血圧・不整脈・虚血性心疾患・脳梗塞・糖尿病）を重症化させるといわれています。

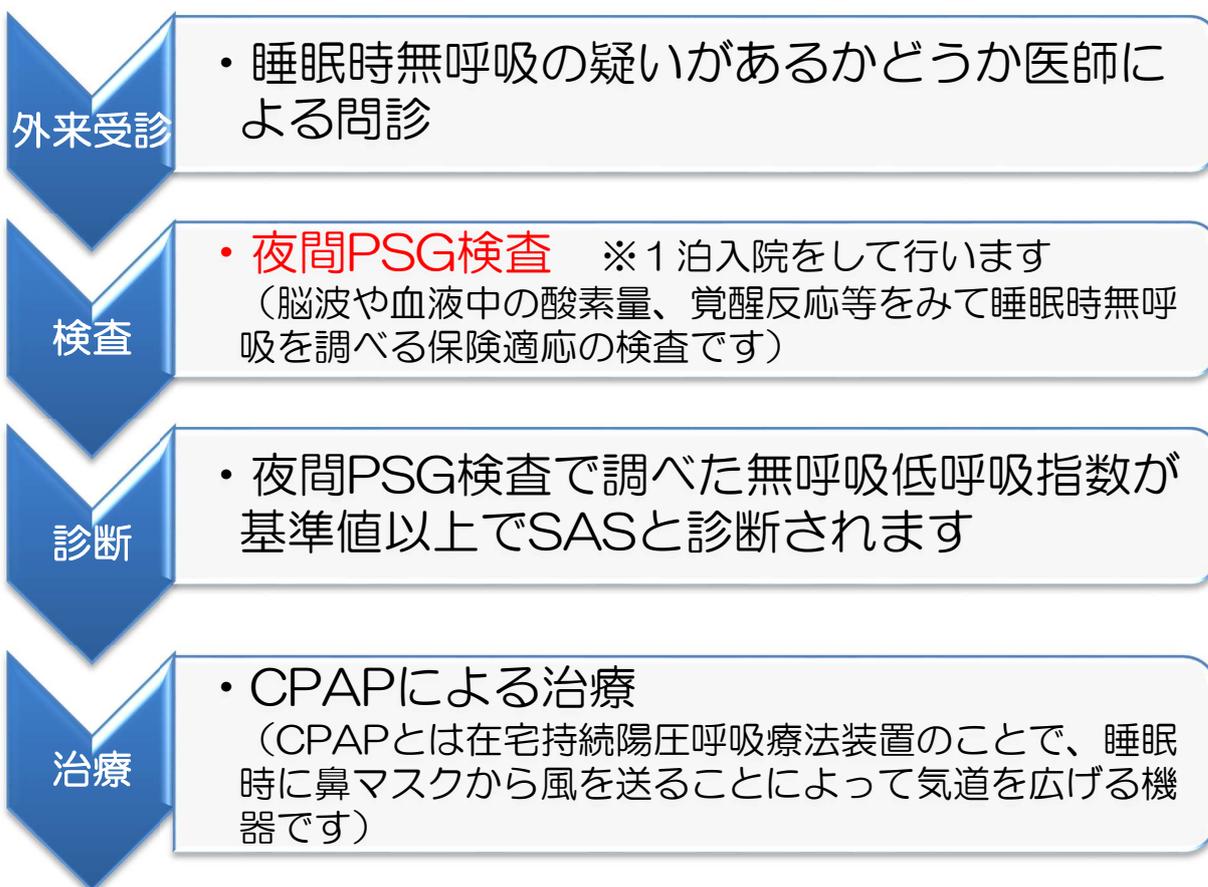
• SAS の原因

SAS の病態でもっとも多いのが、下図のように上気道（空気の通り道）が睡眠中に塞がる、または、部分的に狭くなるのが原因となる閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）です。



※ご本人やご家族で、いびきや呼吸停止が起きている方は睡眠時無呼吸検査をお勧めします。

・検査～治療の流れ



夜間 PSG フル検査 (上図イメージ) 1泊入院

検査日 15:00頃 入院

翌日朝 8:00頃 退院